

進学感想

王若漁

皆さん、こんにちは。21歳になってから日本へ留学に来た学生として、ここで私の経験を皆様と共有できるのはとてもうれしく思い、また皆さんの為にお役に立てばと思います。

日本に来て学部入試を準備したこの1年間、一番感じたのは、時間が足りないことです。2020年11月に日本に来て、ホテルで隔離期間中、翌年6月の日本留学試験はまだ先だと考えていました。隔離が終わって12月に日本での新しい生活がスタートしましたが、時間のことは特に気にしませんでした。塾に申し込んだのも3か月後でした。もちろん、私より、確実に時間管理ができる方も多くいると思いますが、時間管理できない方には、時間管理の重要性を強調したいです。実は、競争は日本に入国する前から始まっています。あなたは特に凄い能力を持っているわけでなければ、前もって早めに準備すべきです。」

これは私の切実な体験です。私は中国国内でもっと時間を大事にし、早めに準備したら、もっといい大学に合格できるはずであり、学部についても選択肢が多くなるはずだと思います。

次に英語の話をしましょう。英語の成績は良い大学を受験するのに必要です。次の2点が重要です。第一、英語の勉強を重視すること。第二、TOEFLが難しいとの噂に怯まないこと。TOEFLについては塾で訓練を受け、また問題集を沢山やれば、よい点数は取れるはずです。英語をよく勉強しマスターすれば、そのメリットは大学入学後、または社会に出た後に表れるでしょう。もちろん、私のような成績が普通の学生は自分の経験に限界があります。皆さんがこの文章をご覧になった時は、以上の表現をご容赦ください。

自分の努力及び先生方のご指導のもとで、私は国際基督教大学の教養学部、中央大学文学部、法政大学の法学部に合格しました。

私は日本留学試験（EJU）でよい成績を取った為、日本学生支援機構から「文部科学省外国人留学生学習奨励費」の予約通知を頂きました（毎月48,000円、年間576,000円）。これは私の努力以外に、学校の先生方のご指導に大いに関係すると思います。ここで、先生方に感謝したいと思います。

最後に、私の母親から「自分が欲しがるものは自分にとって一番いいものです」とよく聞かされていましたが、皆さんも自分の目標を見つけて目標に向かって頑張ってください！

皆さん、自分の行きたい大学に入れるように祈ります。